

# 佐野市景況レポート

平成28年4～6月期



佐野商工会議所  
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1  
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517  
HP <http://www.sanocci.or.jp>  
E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)  
調査協力：佐野市あそ商工会

## 佐野市景況調査報告

(平成28年4～6月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、201社(回答率69.3%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### 《 概 況 》

#### 波乱の平成28年春

平成28年4～6月期には、日本経済に大きな影響を与えた出来事が続いた。4月の熊本地震、5月の消費増税延期、6月のイギリスEU離脱である。特に、イギリス国民投票によるEU離脱の結果は、一時1ドル99円の円高と日経平均株価1,200円以上の下落と市場に大きな影響を与えた。イギリスのEU離脱により、円高に流れが変わったと断言できないが、日本経済の不確実性はさらに高まったといえる。

不確実性の高い経営環境下において、創業以来58年間成長し続けている伊那食品工業(株)が長野県伊那市にある。当社には『年輪経営』と言われる経営理念がある。末広がり成長を続けて永続するためには、急成長はマイナスで、木が寒さ・暑さ・風雪等の環境により年輪幅は変わるが、年輪を必ず作るように企業も前年よりも必ず少しだけ成長する考えである。当社は、これが企業のあるべき姿としている。本考えの基本になっている二宮尊徳翁の言葉を紹介する。

『遠きをはかる者は富 近くをはかる者は貧す。

それ遠きをはかる者は百年のために杉苗を植う。

まして春まきて秋実物においてをや。故に富み有るなり。

近くをはかる者は春植えて秋実る物をも尚遠しとして植えず

唯眼前の利に迷うてまかずして取り 植えずして刈り取る事のみ眼につく。故に貧窮す。』

佐野市景況レポート(平成28年4～6月期実績)をみると、全業種業況DI指数は▲26.4、前期(3月期)比▲10.8ポイントの業況悪化となった。利益DI指数は▲28.9(前期比▲4.9)の悪化、売上高DI指数は▲27.6(前期比▲13.0)、販売価格DI指数は▲9.6(前期比+2.9)、仕入価格DI指数は7.2(前期比▲0.1)となった。つまり、販売価格は僅かに上昇、仕入れ価格は前期並みであったが、売上高が大幅に減少し利益が悪化したと推測する。

今後3ヶ月間(平成28年7～9月見通し)をみると、全業種業況DI指数は▲16.2(前期比+1.2)と、今後3か月間の業況は6月期実績▲26.4に比べ改善の予想をしている。予想売上高DI指数は▲12.6(前期比+8.2)、予想仕入価格DI指数は8.6(前期比+1.0)、販売価格DI指数は▲9.1(前期比+0.4)と、仕入価格と販売価格は前期並みを予想し、売上高は増加を予想する。

(本調査結果には、イギリスのEU離脱の影響が織り込まれていない可能性の考慮が必要)

熊本地震により、人命が失われ、多くの方が避難所生活を余儀なくされています。

一日も早い復旧・復興を祈念します。

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清(中小企業診断士)

## ☆ 業況について（平成 28 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 ▲26.4、前期比 10.8 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 0.0 ポイント、②食品製造業 ▲5.9 ポイント、③飲食店 ▲12.5 ポイント、
- ④繊維品製造業 ▲15.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 ▲21.7 ポイント

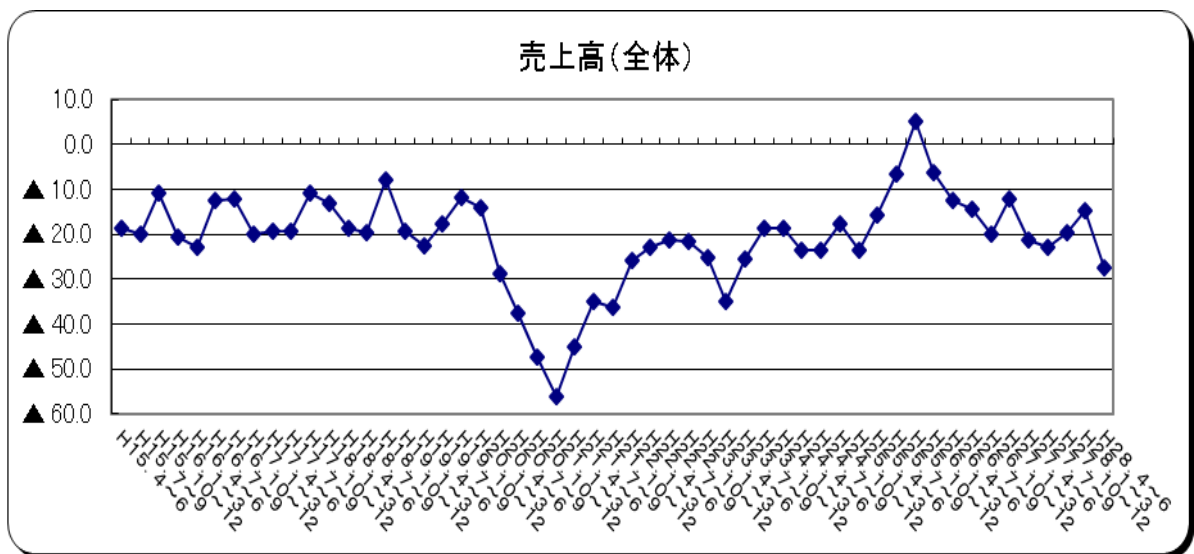


## ☆ 売上高について（平成 28 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 ▲27.6、前期比 13.0 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 9.1 ポイント、②飲食店 0.0 ポイント、③繊維品製造業 ▲15.0 ポイント、
- ④食品製造業 ▲17.6 ポイント、⑤建設業 ▲25.7 ポイント



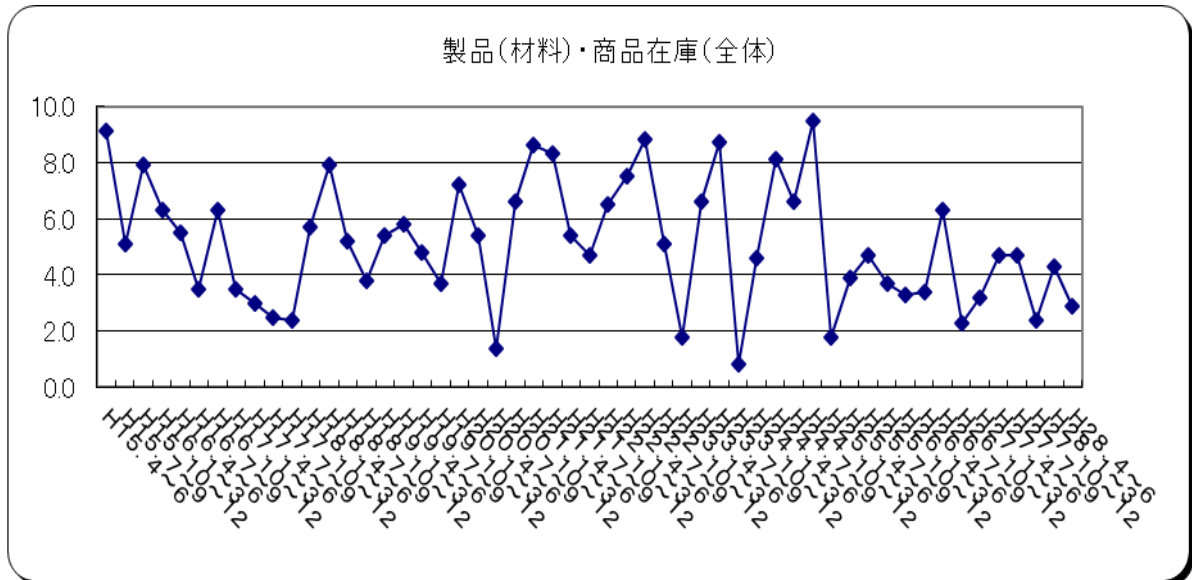


## ☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 28 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 2.9、前期比 1.4 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①繊維品製造業 22.0 ポイント、②小売業（飲・食料品） 15.8 ポイント、③機械・金属製造業 12.5 ポイント、④その他製造業 10.3 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む） 9.4 ポイント

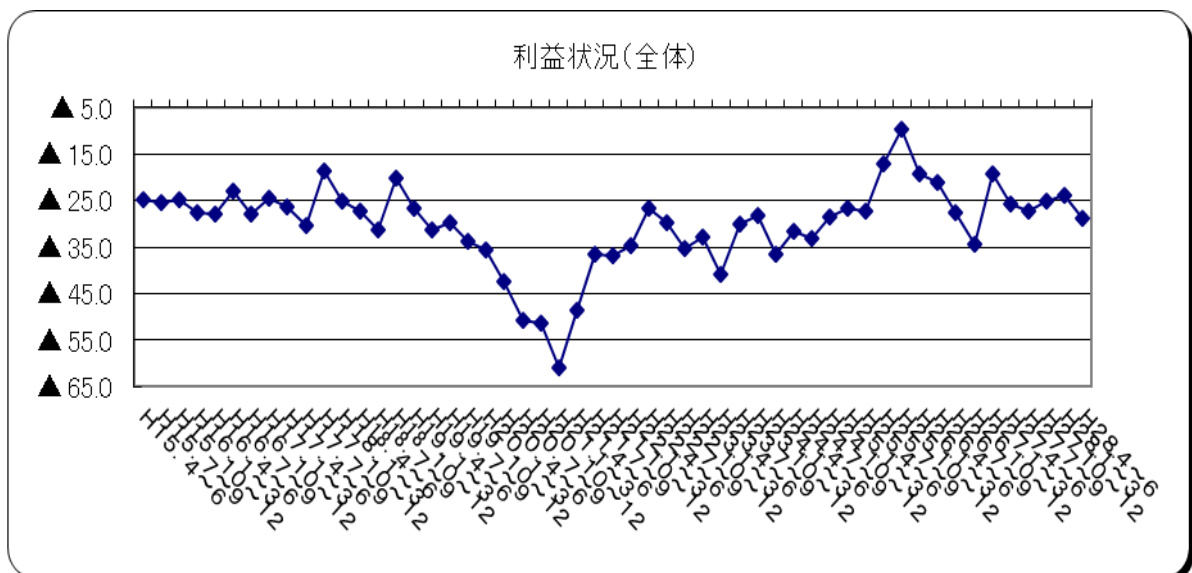


## ☆ 利益状況について（平成 28 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲28.9、前期比 4.9 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 9.1 ポイント、②食品製造業▲5.7 ポイント、③飲食店▲13.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲13.8 ポイント、⑤その他製造業▲21.4 ポイント



## ☆ 資金繰りについて（平成 28 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲12.1、前期比 0.8 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①卸売業 27.3 ポイント、②小売業（飲・食料品）8.1 ポイント、③食品製造業 5.3 ポイント、④化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント、⑤サービス業▲5.5 ポイント

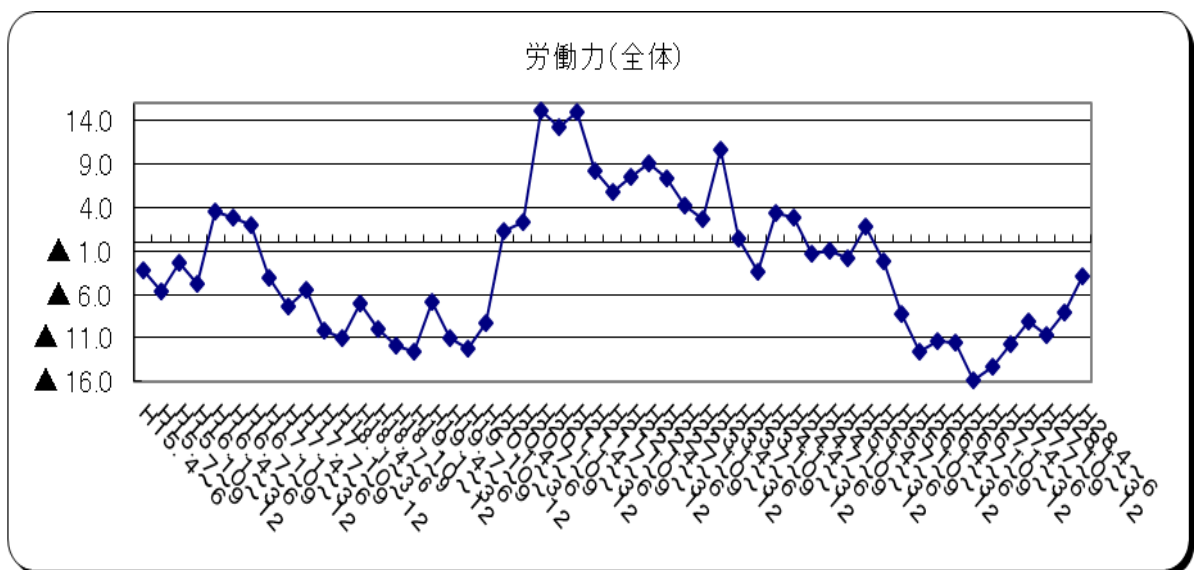


## ☆ 労働力について（平成 28 年 4 月～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲3.9、前期比 4.1 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①機械・金属製造業 15.8 ポイント、②設備業及び繊維品製造業、化学・プラスチック製造業、卸売業、小売業（飲・食料品）、その他の小売業（大型店含む） 0.0 ポイント

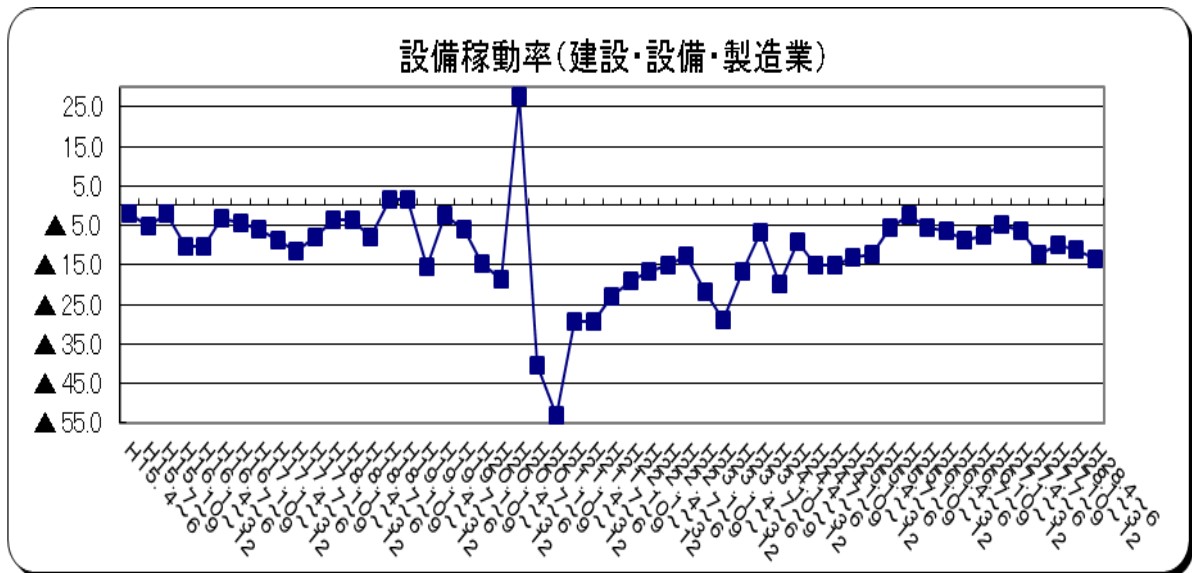


☆ 設備稼働率について（平成 28 年 4～6 月期実績）  
（建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲13.5、前期比 2.3 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 0.0 ポイント、②化学・プラスチック製造業▲8.3 ポイント、③食品製造業▲10.7 ポイント、④設備業▲17.6 ポイント、⑤建設業▲24.3 ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成28年7～9月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲16.2、前期比1.2ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 10.3ポイント、②化学プラスチック製造業 8.6ポイント、③食品製造業▲5.5ポイント、④繊維品製造業▲7.7ポイント、⑤機械・金属製造業▲10.1ポイント

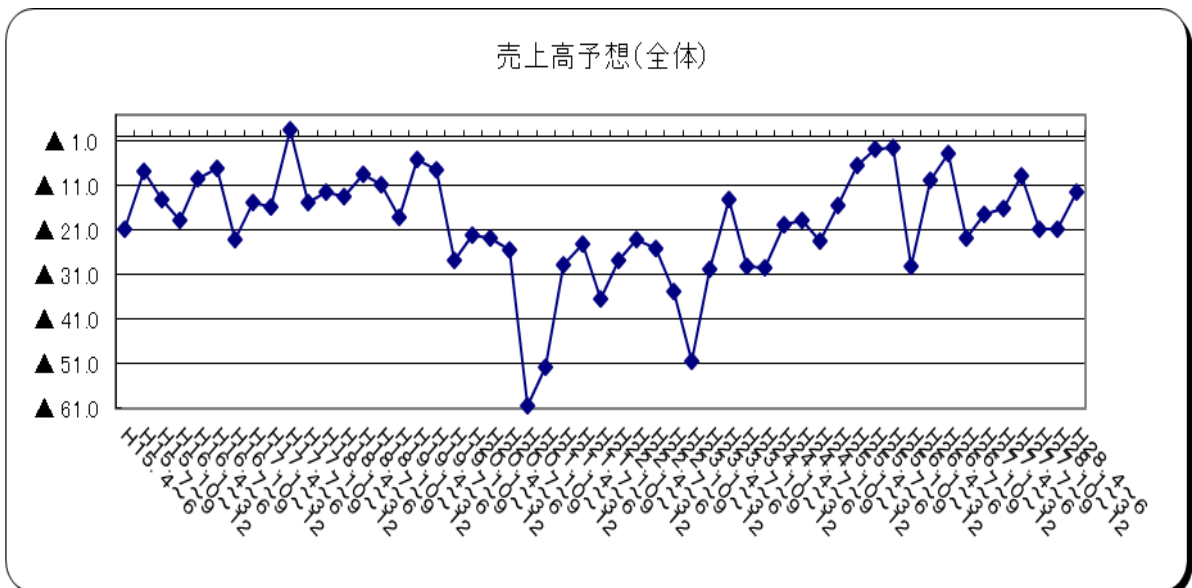


☆ 今後3ヶ月先（平成28年7～9月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲12.6、前期比8.2ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

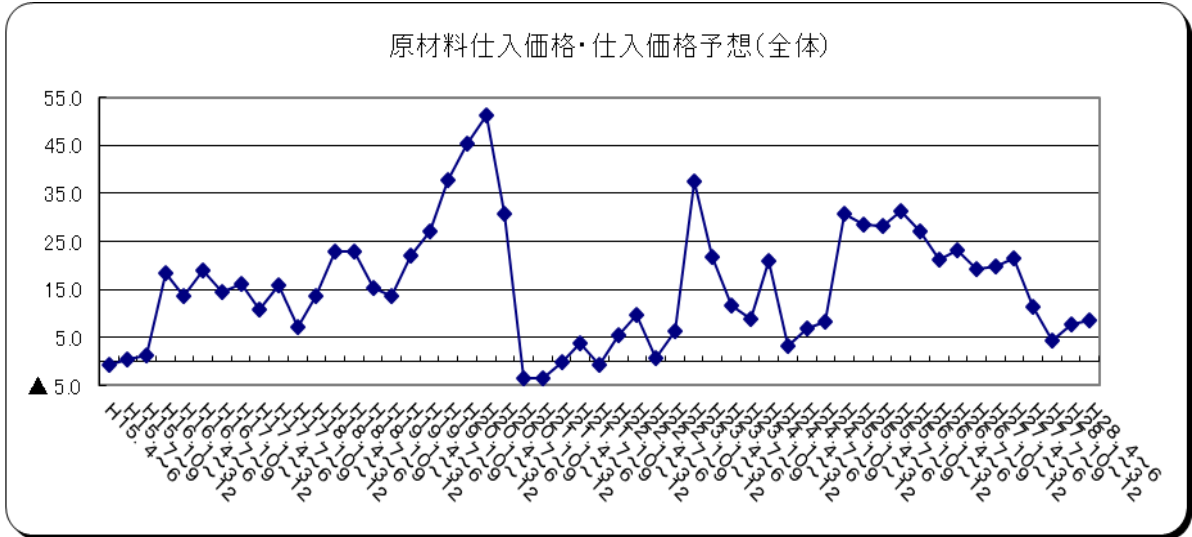
- ①その他の製造業 10.3ポイント、②化学・プラスチック製造業 8.8ポイント、③卸売業及び小売業（飲・食料品）0.0ポイント、⑤食品製造業▲11.1ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成28年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数 8.6、前期比 1.0ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

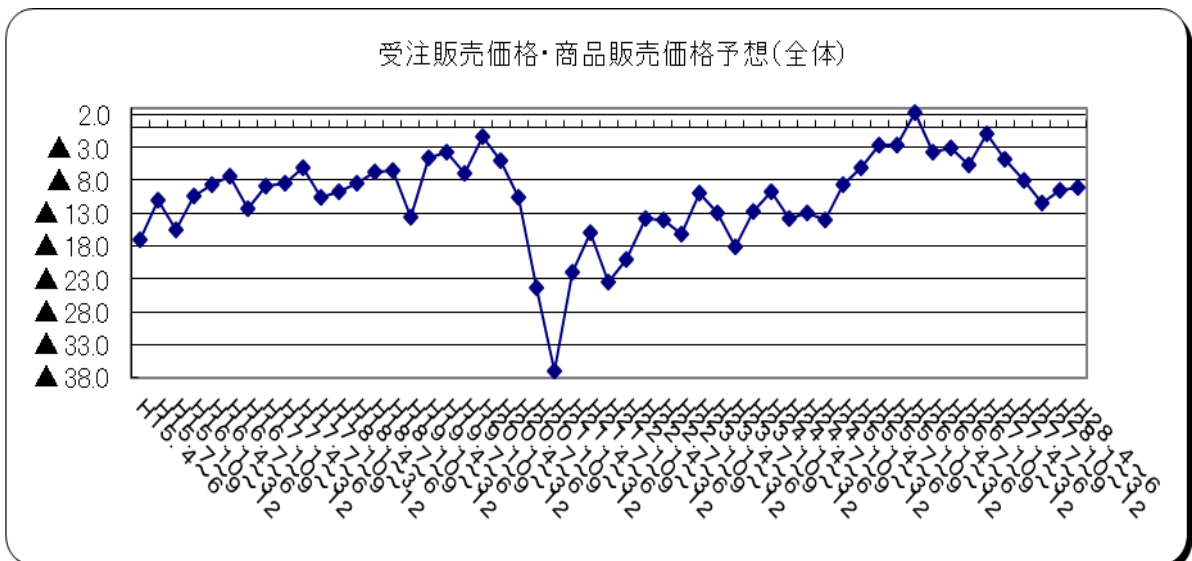
- ①小売業（飲・食料品）24.3ポイント、②飲食店 18.4ポイント、③建設業 15.8ポイント、④サービス業 10.3ポイント、⑤設備業 8.6ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成28年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲9.1、前期比 0.4ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業及び飲食店 0.0ポイント、③化学・プラスチック製造業▲3.9ポイント、④サービス業▲5.1ポイント、⑤機械・金属製造業▲5.9ポイント





☆ 為替がもたらす自社への影響（売上・収益・経費等）について

為替がもたらす 自社への影響について	平成 26 年 10-12 月期		平成 27 年 1-3 月期	
	構成比 (%)	評価ポイント	構成比 (%)	評価ポイント
①大幅にプラスの影響がある (+2P)	12%	24	0%	0
②若干プラスの影響がある (+1P)	7%	7	6%	6
③影響はない (0)	32%	0	49%	0
④若干マイナスの影響がある (▲1P)	38%	▲38	34%	▲34
⑤大幅にマイナスの影響がある (▲2P)	11%	▲22	11%	▲22
合 計	100%	▲29	100%	▲50

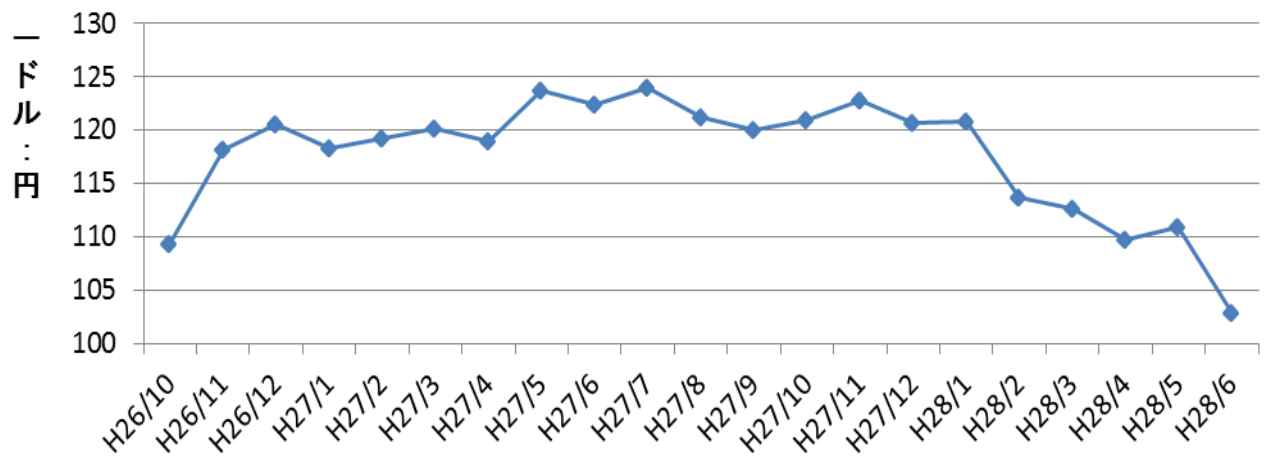
平成 27 年 4-6 月期		平成 27 年 7-9 月期	
構成比 (%)	評価ポイント	構成比 (%)	評価ポイント
12%	24	0%	0
8%	8	6%	6
34%	0	58%	0
34%	▲34	29%	▲29
12%	▲24	7%	▲14
100%	▲26	100%	▲37

平成 27 年 10-12 月期		平成 28 年 1-3 月期	
構成比 (%)	評価ポイント	構成比 (%)	評価ポイント
1%	2	1%	2
7%	7	4%	4
61%	0	76%	0
26%	▲26	16%	▲16
5%	▲10	3%	▲6
100%	▲27	100%	▲16

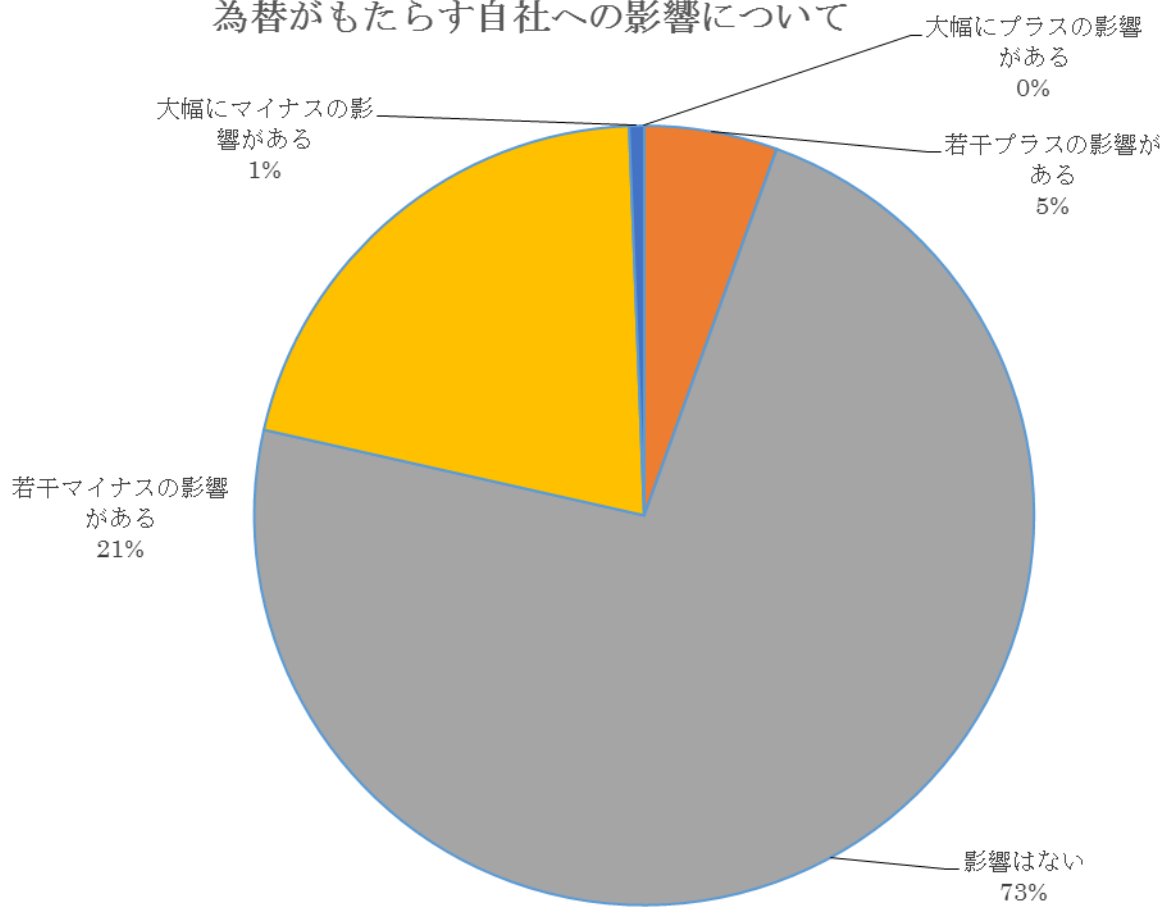
平成 28 年 4-6 月期	
構成比 (%)	評価ポイント
0%	0
5%	5
73%	0
21%	▲21
1%	▲2
100%	▲18

※ 評価ポイントとは、設問①～⑤の項目について、+2 ポイント～▲2 ポイントを与え、構成比で乗じた値を評価ポイントとして記載したものである。

ドル・円為替レート 月末推移表



為替がもたらす自社への影響について



## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・市外からの観光客が増加している佐野市においては、道路整備が急務である。インフラ整備による財政出動が必要である。
- ・イギリスのEU決着が気になります。日銀のマイナス金利、我々にメリットないですね。

### 設備工事業

- ・コメントなし。

### 繊維品製造業

- ・コメントなし。

### 食品製造業

- ・街中の活性化の為、しっかりがんばります。にぎわいのある街中にしたいものですね。
- ・天気しだい。
- ・まだまだデフレです。
- ・消費税増税の延期により今期は影響回避となっております。
- ・売上、利益とも横ばいの状況。

### 機械・金属製品製造業

- ・イギリスの問題でどうなるのか心配です。
- ・当面は低位横這い推移。8月後半より建築関連中心に需要の回復が見込める。輸出関連は為替動向次第で目が離せない。
- ・東京都知事の大失態はあきれてコメントできません。純粋な気持ちで政治はできないもののでしょうか？退職金が返金できないのなら、被災地に全額寄付してほしいと思います。
- ・下期に回復を期待したいが、予断を許せない状況。
- ・一時の需要も落ち着きを見せ今後の需要についても下降するものと思われる。
- ・工作機械業界は補助金により需要の先食い感が有ります。新興国の景気が盛り上がらないと…。消費税で内需が腰折れしてしまえば、とどめになりかねないですから、先送りもしかたないのでしょうか？来年本当に“もの補助”ありませんかねえ？
- ・全体的に昨年並みで推移する傾向ですが、売上（販売）価格が下降傾向ですので、収益を圧迫すると思われます。
- ・本当に必要な会社に必要な時に融資可能な助成金の検討を望む。

### 化学・プラスチック製品製造業

- ・前が見えてこない。
- ・マイナス金利、消費税引き上げ延期はあるものの、先行きが不透明である。
- ・単価算定が厳しく利益がない。不良品が出る、利益が少ない。
- ・特にナシ。

## その他の製造業

- ・当 4～6 月期は例年売上は減少するが、今年は需要期の売上残があり、いつもの年より売上げがあった。為替は材料が輸入の為、円高の方が良い。輸出はない。
- ・住宅メーカー等、建設関係が下降している様に感じます。
- ・年内の、景気見通しは相当悪いと思われるが、来年はいくらか上昇するのではないかと？

## 卸売業

- ・オリンピック需要?!どこに消えてしまったのでしょうか!!

## 小売業（飲・食料品）

- ・来客数の減少に歯止めがきかないのがつらい。
- ・1日佐野市内で商いしているので、駐車場が今一番頭を悩ましています。従業員の車、お客様の車の数が増していくので大変です。
- ・夏場に向かって仕入価格はさらなる値上がりが見込まれる。売上も少しでも上昇してほしいです。
- ・原材料等に変動はないが、各店舗の売上げが落ち込んでいる。この先が心配だ!新製品を造って打開しなければ?
- ・政府は景況について都会を水準にしている様だ。地方はまだまだ低迷している。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・大手企業からの受注が増えている。中小企業からの受注は減っている。
- ・付加価値をつける為経費がかかるがしょうがない。でも、お客様は答えて頂ける。
- ・昨年と同じことをしては前に進めません。悪い悪いと思っていただけでは、何も進歩しません。あらゆる努力・計画・施策・行動と実行あるのみです。
- ・政府（日銀）が公定歩合を調整して貸出金利を下げるよりも、預貯金金利を上げて欲しい。
- ・季節的要因による結果です。
- ・人通りがない。（特に日曜日が静か）

## 飲食店

- ・比較的野菜は引き続き高値で推移している。今後も下がるとは思えない。
- ・今年の6月2日に開店したばかりですので、何事もこれからですので、ワールドカップ予選・オリンピック等地域の皆様と大型画面で観られたらと思います。
- ・飲食店という業種の為、1～3月期が売上としては多いので、比べて4～6月期は落ち込む傾向にあります。7～9月期は、さらに落ち込むと思います。

## サービス業

- ・地域の民力の低下を感じています。衰退の加速が心配です。
- ・大手参入が進み地元中小が仕入の段階から苦戦している印象。今までと違うルートの開発や、堅実な経営、新しい分野への方向転換も必要と感じています。
- ・建設計画のみで、実行しない物件が多いので、景気は良いと思わない。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成28年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

### 3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

